

## IFRS in Focus

## IASB、「重要性がある」の定義を修正

注：本資料はDeloitteのIFRS Global Officeが作成し、有限責任監査法人トーマツが翻訳したものです。

この日本語版は、読者のご理解の参考までに作成したものであり、原文については英語版ニュースレターをご参照下さい。

## トーマツIFRSセンター・オブ・エクセレンス

このIFRS in Focusは、国際会計基準審議会(IASB)が公表した、IAS第1号「財務諸表の表示」及びIAS第8号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の最近の修正を取り扱っている。本修正は、「『重要性がある』の定義」(IAS第1号及びIAS第8号の修正)というタイトルである。

- 本修正は、IAS第1号における「重要性がある」の定義の理解を容易にすることを意図したものであり、IFRS基準における重要性の基礎となる概念を変更することを意図したのではない。
- 重要性のない情報で「覆い隠す」という概念が、新しい定義の一部として含まれている。
- 利用者に影響を与える重要性の閾値は、「影響を与える可能性がある」から「影響を与えると合理的に予想し得る」に変更された。
- IAS第8号の「重要性がある」の定義は、IAS第1号の「重要性がある」の定義を参照することにより置き換えられた。さらに、IASBは、首尾一貫性を確保するために、「重要性がある」の定義を含む、又は「重要性がある」という用語を参照する他の基準及び「概念フレームワーク」を修正した。
- 本修正は、2020年1月1日以後開始する事業年度に将来に向かって適用される。早期適用は認められる。

## 背景

IASBは、一部の企業が、財務諸表を作成する際に重要性を判断する際に困難を経験しているという懸念に対処している。これらの困難は一般的に行動上のものであり、「重要性がある」の定義に関連するものではないが、フィードバックはIAS第1号と「財務報告に関する概念フレームワーク」(概念フレームワーク)との間での異なる定義の文言など、多くの分野が定義を精緻化によって対処できることを示していた。

## 見解

IASBは、本精緻化は、定義の理解を容易にすることを意図したものであり、IFRS基準における重要性の基礎となる概念を変更することを意図したのではないと記載している。

## 本修正

主に、IASBはIAS第1号7項の定義を修正した。以下のように置き換えられている。

「情報は、それを省略したり、誤表示したり覆い隠したりしたときに、特定の報告企業についての財務情報を提供する、一般目的財務諸表の主要な利用者が当該財務諸表に基づいて行う経済的意思決定に影響を与えると合理的に予想し得る場合には、重要性がある。」

本修正は、IFRS基準における「概念フレームワーク」の参照についての2018年の修正を適用している企業と、適用していない企業とで変更内容が同じであることを示している。

定義の主な精緻化は次のとおりである。

- 閾値を「影響を与える可能性がある」を「影響を与えると合理的に予想し得る」に置き換える。その可能性がほとんどないとしても、ほとんどすべてのものが一部の財務諸表利用者の意思決定に影響を与える「可能性がある」ことを考慮すると、前者は範囲が広すぎると理解される可能性があるためである。
- IASBがより明確であると考え、「概念フレームワーク」における「重要性がある」の定義の文言を使用する。これには、付随しない用語は広範すぎると考えられるので、単に「利用者」を参照するのではなく、「主要な利用者」という表現を使用することも含まれる。
- IAS第1号30A項における既存の概念を組み込むため、また、「誤表示」及び「省略」に加えて、重要性のない情報を含めることの影響も考慮すべきであるという懸念に対処するために、「重要性がある」の定義に「覆い隠す」を含める。

- 定義の一部である要求事項と定義を説明する要求事項を明確にするために、説明の文言を定義から説明のパラグラフに移動する。
- 「経済的決定」を「意思決定」に置き換え、同じように解釈されることを期待する。  
「重要性がある」の定義とは別に、IAS第1号7項に追加の説明ガイダンスが追加された。
- IAS第34号「期中財務報告」
- IAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」
- IFRS第2号「株式に基づく報酬」（適用ガイダンスのみ）
- IFRS第4号「保険契約」（適用ガイダンスのみ）
- IFRS第17号「保険契約」（結論の根拠のみ）

#### 見解

「覆い隠す」の概念を導入することにより、IASBは、企業が現地の規制当局が要求する重要性のない情報を開示することを妨げたり、企業が財務諸表における情報をどのように整理し伝達するかを規定することを意図していなかった。

むしろ、IASBは、IAS第1号30A項における既存の要求事項を支持し、企業及び他の利害関係者が、重要性のある情報を省略又は誤表示することと同様の効果を有する範囲で、重要性のある情報が重要性のない情報によって覆い隠される事例を回避することを支援することを意図している。

#### 見解

以下の表現は同じ解釈されることを意図しているため、IASBは、新しい定義にそえるために、「経済的決定」のすべての場合を「決定」に変更しておらず、「利用者」のすべての場合を「主要な利用者」に変更していない。

#### 発効日

本変更は、2020年1月1日以後開始する事業年度における重要性の判断に将来に向かって適用される。早期適用は認められる。(企業はその事実を開示しなければならない。)

さらに、IASBは、以下のIFRS基準及びその他の公表物の「重要性がある」の定義をそえるために、結果的修正を行った。

- 2010年「財務報告に関する概念フレームワーク」
- 2018年「財務報告に関する概念フレームワーク」
- IFRS実務記述書第2号「重要性の判断の行使」
- IAS第10号「後発事象」

以上

### デロイト トーマツ Webサイトのご案内 IFRS/国際財務報告基準(国際会計基準) <http://www.deloitte.com/jp/ifrs/>

デロイト トーマツ グループでは、統一した高品質のIFRS関連サービスを広範に提供することを目的として、IFRSの専門家集団、「トーマツIFRS室」を設置し、Webサイトでも最新の情報発信や各種サービスの提供を行っています。ぜひご利用ください。

- **デロイト トーマツのIFRSサービス**  
デロイト トーマツのIFRSサービスの特徴/IFRSサービスメニュー/IFRS導入の指針
- **IFRSとは**  
IFRSの歴史/IFRSの構成/IFRSの特徴/各国のIFRS適用状況/IFRSをめぐる日本の動向/IFRS関連略称
- **解説記事**  
IFRS基準別の解説/IFRS公開草案等の解説/IFRSと日本基準の会計基準差異/IFRS業種別トピックス/IFRS関連ニュースレター
- **セミナー**  
IFRSセミナー
- **出版物**  
市販書籍/デロイトの出版物

お問合せ先 トーマツ IFRS室 Tel:03-6213-1168 E-mail:jp\_ifrs\_service@tohatsu.co.jp